

## 弘前大学情報基盤システムへの疑問点と要望

人文学部経済経営課程 工藤 武瑠

h15h3030@hirosaki-u.ac.jp

### 1 はじめに

昨今では、情報の価値が上昇し、個人情報漏えいやサイバーテロ、ハッキングなどの言葉がニュースを騒がせている。これらは大学の情報に対しても同じことが言え、研究次第では多くの影響を与えることを考えると非常に重大な問題である。筆者は情報セキュリティに関して専門的な知識を有しているわけではない。よって、利用者の視点から疑問に思ったことや要望をまとめる。

### 2 弘前大学情報基盤システムへの疑問点

まず、疑問に思ったのは USB の管理である。どこの大学でも同じであると思うが、弘前大学では弘前大学情報システムと接続しているパソコンへの USB の使用が認められている。しかし、USB にウイルスが感染している可能性もあり、その対処どうしているのだろうか。

次に、メールアドレスの管理である。筆者が就職活動をした際、企業の評価や口コミを確認したことがあった。その時、個人のメールアドレスではなく、大学のメールアドレスを要求されることがあった。このように学生の大学メールアドレスが大学側の確認できないところで第三者に漏れることには問題はないのだろうか。

また、メール自体の取り扱いではプロトコルについて注意を受けた記憶が私自身無い。しかし、メールを開いた瞬間プログラムが実行されるものもある。

これらの問題はインターネットの知識不足が原因である。もちろん、ある程度の知識を有していれば、あるいは何らかの対策があれば問題はない。しかしそのどちらにも当てはまらない場合、弘前大学では情報の科目が必修となっており、その時間にこのような知識を補うことは可能であると思う。

### 3 弘前大学情報基盤システムへの要望

まず、一つ目の要望はノートパソコンの各学部での貸し出しである。現在、弘前大学では図書館内でのみノートパソコンが貸し出されている。しかし、各学部で貸し出してくれるのであれば、急なディスカッションや議論の際より役に立つだろう。

次にインターネット経由での印刷である。現在、弘前大学内で印刷のみを実行する場合でも大学内のインターネットと接続しているパソコンを立ち上げる必要がある。これは時間や場所を制限され、不便であると感じている。よって、クラウドなどの活用を検討してほしい。

### 4 おわりに

筆者は前述したとおり、情報セキュリティに関して専門的な知識を有しているわけではない。よって、あくまでも、利用者としての視点から疑問と要望を述べた。よって、実際にはすでに対策されているもの、実行不可能なものもあるだろう。筆者は勉学に励みやすい環境として、現在より弘前大学情報基盤システムが安全で快適なものになることを望む。